



● 新しい交流のカタチを目指して —— 滋賀県彦根市シティプロモーション推進課

彦根市の国際交流

彦根市は、滋賀県東北部に位置し、びわ湖と鈴鹿山系に囲まれた豊かな自然と国宝彦根城天守をはじめとする貴重な歴史遺産が数多くあるまちです。

本市では、1969年にアメリカ合衆国ミシガン州アーバー市と姉妹都市提携を行い、1991年からは中国湖南省湘潭市と友好都市となりました。姉妹都市、友好都市交流では、市民使節団や中学生交流団の相互派遣など、市民の交流を中心とした幅広い都市間交流を進めてきました。

そして、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会のホストタウンとして登録されたことをきっかけに、スペインハンドボール女子代表チームやスペイン王国セゴビア市との交流を進めていくこととなり、スペイン人の国際交流員（CIR）を迎えることとなりました。

スペインを全力で応援

来日後、まずCIRが活躍したのが、「2019女子ハンドボール世界選手権大会」の事前合宿の受け入れでした。

2019年11月下旬の7日間、スペインハンドボール女子代表チームの選手、監督、スタッフなど、約30人が彦根市に滞在し合宿を行いました。

その際、CIRは選手団と受入関係者間の通訳として、選手団が母国と異なる日本の環境に適應できるように尽力しました。

事前合宿の間には、スペインハンドボール女子代表チームによる青少年向けハンドボール教室などの交流事業を開催し、選手団と市民との交流の架け橋としても活躍しました。

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた彦根市での事前合宿は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となりましたが、市内の小中学生や関係者とともに応援動画、応援のぼり旗を制作して、



2019女子ハンドボール世界選手権大会事前合宿の様子



市内の小中学生と応援動画を撮影

大会に向けて準備を進めるスペインハンドボール女子代表チームを全力で応援しました。

スペインを楽しく紹介

スペインハンドボール女子代表チームの応援とともに、CIRが力を注いでいるのが、市民向けのスペイン講座です。来日1年目では、月1回程度のペースで開催し、スペイン語の講座や「Parchis（スペインのボードゲーム）」や「Las siete y media（トランプのゲーム）」などのスペインならではの遊びを参加者に紹介するなど楽



スペイン講座の様子（2019年度）

しく交流しました。

コロナ禍では、オンラインでの開催が中心となりましたが、スペインの言語・文化・伝統などを、わかりやすく資料にまとめて紹介するとともに、時には遊びを交えて、参加者と一緒に楽しみながら講座に取り組んでいます。

2021年の5月には、たくさんの方がスペイン語に日常的に触れることができる仕掛けとして、CIR自らがデザインした、彦根にゆかりのある武将のオリジナルLINEスタンプを制作しました。



「彦根×スペイン」応援スタンプ



彦根市とスペインの魅力を発信

2020年の新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、対面での交流が難しくなった時期から、インターネットを活用して、彦根市とスペインの魅力発信をさまざまな形で行って来ました。

日本人向けには、Twitter (@cityprocir) を用いて、スペインの観光地や文化、祭りなどの魅力を発信したほか、スペイン語の紹介やCIRが日本で生活して感じたことなどを、ほぼ毎日投稿しています。

また、スペイン人に向けては、利用者が多いInstagram (@descubre.hikone) を使用して、スペイン語で彦根の観光名所や日本の文化などについて発信しています。



Twitter



Instagram



CIR紹介HP

さらにYouTubeを活用して、視聴者にスペイン語に親しんでもらうために、市役所の職員とともにミュージックビデオの制作・発信に取り組んでいます。動画の企画立案から作詞、撮影、動画編集までCIRが行っており、完成した動画のクオリティの高さにいつも驚かされています。東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会最終予選を競ったスペインハンドボール女子代表チームへの応援動画は、スペインで大きな反響を呼び、たくさんの現地メディアに掲載されました。

また地元のハンドボールチームと協働して、2021年の女子世界選手権に向けた応援メッセージ動画を送るなど、ホストタウンとしての活動を継続しています。

今後も、いろいろな形で、彦根市やスペインの魅力を発信し、交流を進めていきますので、みなさんも、是非ご覧ください。



スペイン女子ハンドボールチームに贈った応援動画